対県第2次交渉

【総務部】

差別事件について、近大新宮高校の差別事件にたいする対応が遅く、被害をうけた生徒に大きな負担を強いてしまったことについて、一人の生徒の将来を大きく変えてしまったという非常に重要な差別事件であることをしっかりと認識し、企画部の連けいを密にしてほしいと強く訴えた。

戸籍謄抄本等不正取得事件について、部長会議や市町村会議、ヒヤリングの場で対応すると回答された。このことを受け、市町村にたいして、4月1日をめざして本人通知制度の導入を指導する。また、職員研修についても内容を検討する。

急傾斜、低湿地、密集家屋など、立地条件の悪い部落への防災対策について、きめ細やかな対応を要求した。県は、いろいろな面で委員と検討すると回答された。また、備蓄品について女性が大変なのはトイレ、生理用品、着替え、乳幼児への授乳などがある。生理用品や紙おむつなど、女性や子どもに配慮した備蓄品を準備するために、地域のことがわかる女性の委員を増やしてほしいと強く訴えた。

【企画部】

全国的にあいつぐ戸籍謄抄本等の不正取得事件を鑑み「本人通知制度」を4月1日をめどに県内30市町村で実施を要求したが、至っていない。県として、その必要性をふまえ強く指導するよう要求した。

また、差別事件にたいして、県は「国の実効性ある法整備を要望している」と回答し、湯浅町で起きた差別事件でも「法が切れたので、（差別発言を）言ってもいいと思った」としている。国の法整備をまつ前に、県として実効性のある条例に改正しなければならない。悪質な差別事件を規制し、差別を受けて苦しむ人への救済を県独自でできないかと要求した。

【環境生活部】

松井資喜・青年部長から「積極的に地域で活動している青年にたいして、なんらかの助成と制度を周知してほしい。また、高齢化した住宅に、若年層が単身で入居できればコミュニティバランスもとれる。しかし、仕事がないので地元で生活できない」との意見にたいし、県からは「NPOサポートセンターのメルマガ登録をしてくれたら、制度やサポート情報を配信している」「地域若者サポートステーションやジョブカフェなどの活用を」と終始一般的な回答であった。県に「青年が地域で安定して生活する環境を整えるという姿勢が見えない。青年が部落内に定着して生活したいという要求に、どう対応するのか」と問うた。また「具体的な課題にたいして支援策をリンクし、コーディネイトしていくのが県の役割」だと指摘。後日、青年部に意見を聞く機会を設ける。

防災会議への女性委員の参画について、働きかけを続けていきたいと回答があった。最後に、関係各課を集めて連絡会議を作るなど、問題提起や実態を共有するなかで施策を考えていくという体制作りを要望した。

【福祉保健部】

公共施設のバリアフリーについて「年明けに調査結果の集計をもとに指導する」と回答があった。また、学校がバリアフリー非対応では当事者が通えない。また、避難所になったときに対応できない」と指摘。そもそも、検討や必要性を論じるのが間違いで、当事者からの要求は反映させてほしいと要求した。

かつらぎ町が隣保館を返上しようとしている件について、松本吉弘・会計から「県隣協としてかつらぎ町に要望書を出しているが、今後の進捗状況と県からのペナルティ」について問うと、12月議会で条例廃止を計画していたが、県としては地元住民の意見をちゃんと聞いたうえなのか、今後の隣保事業の代替計画等があるのか確認作業中であり、それがクリアされなければ県として認める訳にはいかないと回答があった。また、母子家庭へのサポート体制確立の要求については、新宮支部から地域女性の現状と就労実態について、非正規雇用で働かざるを得ない部落女性の課題を訴え、条件整備を要求した。県からは、市町村のヒアリング等を通じて要望し、県としても検討すると回答された。

【商工観光労働部】

「大型共同作業所」の多くの問題点や課題解決に向けた具体的なとりくみと人材雇用状況の集約について、隔年のアンケート調査と現地調査の実施により、運営・就労状況の把握に努めているが、県からは設置市・町などへの助言にとどまっている。経営改善に向けた強力なとりくみを要求した。

また、今年度の就職採用試験時に、これまで3件の就職差別事件があったことについて、当該受験者の就職状況などの追跡調査やそ

（3頁へつづく）

部落産業の振興を　企業連交礼会

1月18日、部落解放和歌山県企業連合会13年新春交礼会をダイワロイネットホテルで、多くの来賓が参加のもとひらいた。

瀧口秀光・理事長より「経営指導強化を徹底し、時代に対応しうる組織としてのとりくみが必要」と述べた。つづいて、松本貞次・県連副委員長、大門達生・県商工観光労働部長、大橋建一・和歌山市長からあいさつを受け、来賓紹介・祝電披露、村上尚典・日本政策金融公庫国民生活事業統轄による乾杯のあと、懇親を深めた。

【来賓】

◆和歌山県　大門達生・商工観光労働部長、室谷匡利・商工労働政策局長、土井敏弘・商工観光労働総務課長、山本等士・商工振興課長、宮﨑泉・企業振興課長、野田寛芳・企画部長、北山芳宏・人権政策課長、小西佳美・人権施策推進課長　◆和歌山市　大橋建一・市長、坂本安廣・総務公室長、野口滋・商工まちおこし課長、奥田富造・都市計画課長、上島勲・市民環境局長、平田謙司・市民部長、濱端康匡・市民課長、奥村匡朗・人権同和施策課長　◆日本政策金融公庫和歌山支店　村上尚典・国民生活事業統轄、加野浩之・中小企業事業統轄、鳴谷元・農林水産事業統轄　◆和歌山県信用保証協会　曽根義廣・専務理事、西田博章・常勤理事　◆和歌山商工会議所　岡本賢司・専務理事、上田賢司・事務局長　◆和歌山県商工会連合会　蓬臺孝紀・専務理事、湯川恭英・事務局長　◆商工組合中央金庫和歌山支店　入野晃明・課長　◆紀陽銀行本店　小上隆・本店人事相談室長　◆顧問税理士　仁木靖夫、北山和信、福田功、佐竹節夫、橋本義彦　◆顧問弁護士　藤井幹雄　◆顧問行政書士　新井悠喜雄　◆融資審査委員　宮本澄磨

（順不同・敬称略）

今後の日程

3/2　人権を考える講座「心のあやとり」（海南市市民交流センター）
3/3～4　第70回全国大会　（東京）
3/3　第13回中央執行委員会　（東京）
3/8　人権を考える公開講座「夢をあきらめないで」　（ビッグ愛）
3/9　つながろうフクシマ！さようなら原発大行動　（東京）
3/11　つながろうフクシマ！さようなら原発講演会　（東京）
3/22　狭山ビラ統一行動
3/23　和歌山市男女共生出前講座　（杭ノ瀬文化会館）
原発のない福島を!県民大集会　（福島県）

各支部旗びらき

1／5　善明寺
1／8　湯浅、新宮
1／10　有田市、御坊
1／12　杭の瀬、平井、岩橋、古和田、那賀
1／17　岩出
1／18　笠田東

新宮支部旗びらきで団結ガンバロウ！

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を！

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

（発送先）〒640－8314
和歌山市神前405－3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛